

■ コロナ禍におけるJR西日本全体のご利用状況

- ・ 2020年度ご利用数 **42%減※**（2019年度比）
今年度もここまでは2020年度と変わらない状況で推移

※コロナ後のご利用回復の見込みは、コロナ前の90%と想定

■ 人件費の抑制

- ・ 2020年5月以降 社員に『一時帰休』を指定
- ・ 2021年6月以降 乗務員・駅係員を中心に『外部へ出向』
- ・ 賞与 **大幅に減額**
- ・ 業務の効率化を図り **新規採用者の大幅な見送り**

■ 資金調達

これまで約9千億円の資金調達/加えて公募増資により2千億円以上を調達

非常に厳しい経営環境

2020年度決算(JR西日本全体) **2,332億円の赤字**
(今年度も第1四半期決算において年度決算を約1,200億円の赤字に修正)

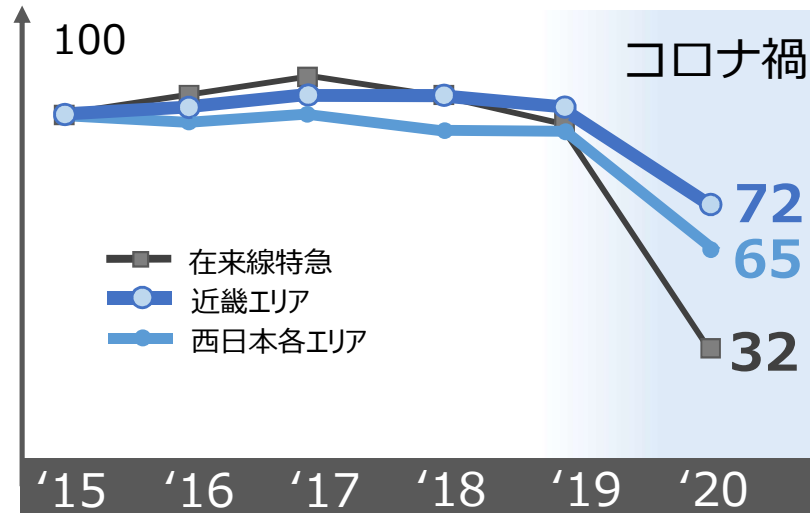
構造改革の加速が不可避

- ・ ご利用に応じた列車ダイヤ適正化（近畿圏含む）
- ・ 持続可能な地域交通の実現

構造改革の実施および持続可能な地域交通の実現

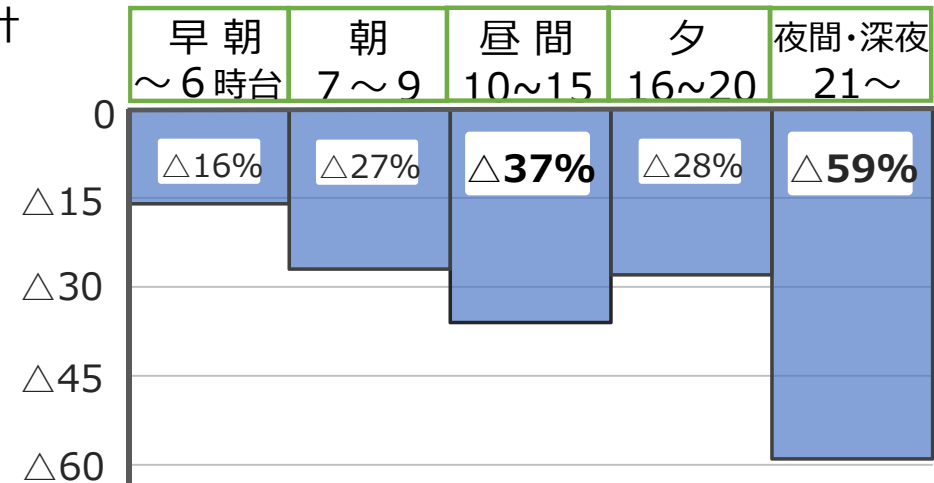
ご利用に応じた列車ダイヤの適正化（近畿圏含む）

■ ご利用推移 '15年度 = 100



■ 時間帯別のご利用減少率

大阪・京都・三ノ宮 3 駅（'21年4月平日）※'19年4月平日比計



近畿・西日本各エリア

- '21.3 深夜時間帯のダイヤ見直し、ご利用にあわせたダイヤ見直し（約300本）
- '21.10 昼間時間帯を中心に一部線区でダイヤ見直し(金沢支社では小浜・越美北線)
- '22.春 すべてのエリアで各時間帯のご利用にあわせたダイヤ見直し

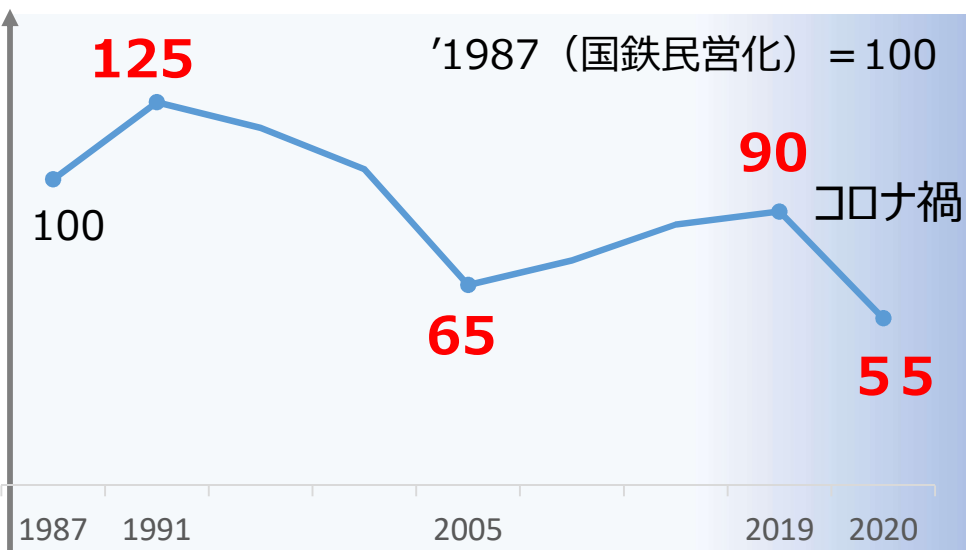
持続可能な地域交通の実現

- 内部補助によって成り立ってきたローカル線のあり方について、課題提起をスピードアップし関係の皆様と一緒に持続可能な地域交通の実現を目指す

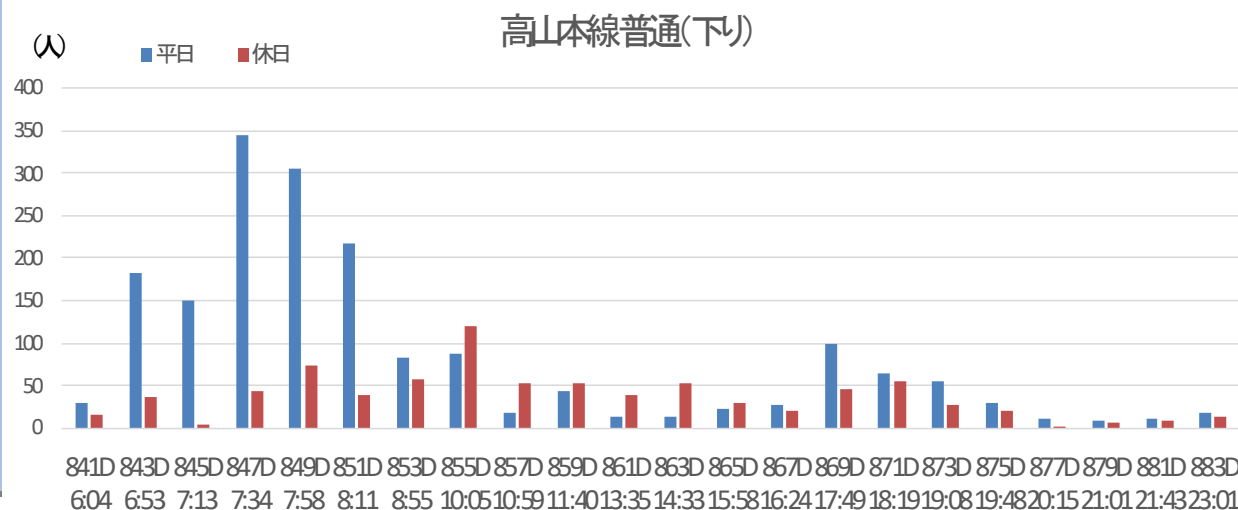
高山本線の現状および課題

高山本線のご利用状況

■ 高山本線のご利用推移



■ 富山駅における時間帯別乗降者数の推移 ※2019年5月26日(日)、30日(木)



住民アンケート調査結果 ※2020年1月実施

■ 運転免許・自家用車の保有状況

- ・ 運転免許保有率及び自分で使える自家用車の保有率ともに8割

■ 公共交通の利用頻度割合 (月1回以上のご利用)

- ・ **高山本線は16.9%**
 高山本線以外の公共交通(路線バス等)は11%

